文部科学省情報ひろば
サイエンスカフェ

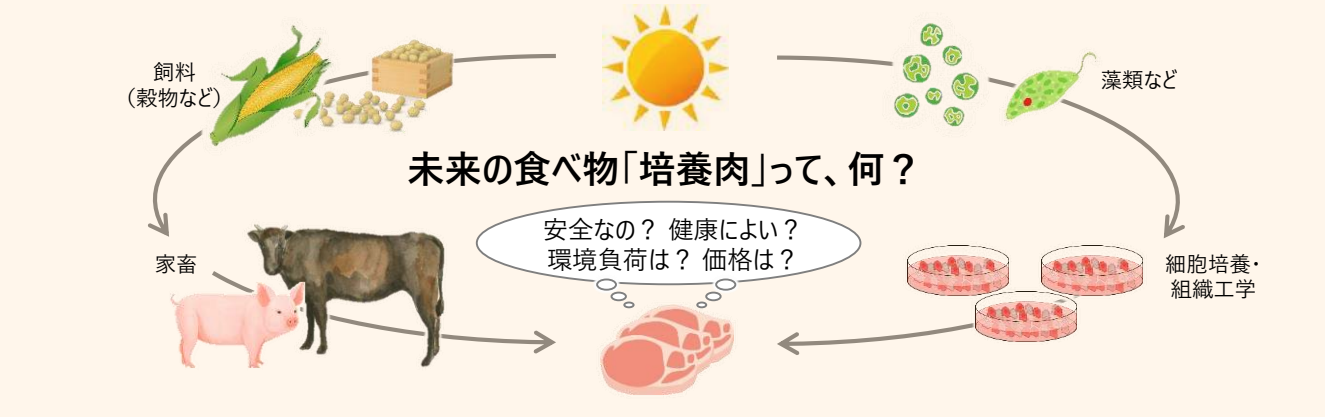
参加費無料
定員30名
事前申込制

# たんぱく質クライシス × 培養肉

## ～未来の食への課題と期待～

世界人口の爆発的増加や、発展途上国の生活水準向上などにより、**食肉消費量**の大幅な増加が見込まれています。しかし、家畜の飼育には飼料や水・土地など大きな環境負荷を伴うことや、気候変動による環境影響などにより、早ければ2030年頃には食肉生産が追いつかなくなるのではないか、と指摘されています。これが、「**たんぱく質クライシス**」と呼ばれている問題です。その解決策のひとつとして、いま世界中で「**培養肉**」の研究が進められています。

培養肉とは、動物の細胞を抽出して組織培養することで製造される、人工肉のことです。
ここでは、培養肉に関する最先端のサイエンスや国際動向などをご紹介します。将来、実際に培養肉が皆さんの食卓に上るまでには、技術開発だけでなく、法制度や食の安全の確保など、社会として解決しなければならないさまざまな課題があります。
「培養肉」という新しい技術の行方について、研究者と一緒に考えてみませんか？




**講師**


しま　あい
**島 亜衣**
東京大学
情報理工学系研究科
特任助教

しみず　たつや
**清水 達也**
東京女子医科大学
先端生命医科学研究所
所長・教授

2019年7月19日(金) 19:00 - 20:30
(18:30 - 開場)
文部科学省情報ひろばラウンジ
銀座線「虎ノ門駅」11番出口直結
千代田線「霞ケ関駅」A13番出口 徒歩5分

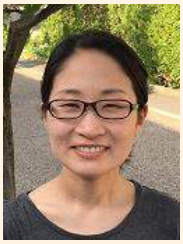
本イベントは、サイエンスアゴラの連携企画の一環として開催します

主催　文部科学省
共催　科学技術振興機構（JST）

## サイエンスカフェって？

サイエンスカフェは、科学者などの専門家と一般の方々が飲み物を片手に気軽に科学などの話題について自由に語り合うコミュニケーションの場です。「科学の話なんて難しそう…」「興味はあるけど緊張するな…」と思った方も大丈夫！専門家がわかりやすく最先端の科学の世界を紹介します！

## 今回の講師はこんな人！



**講師　島 亜衣**

東京大学情報理工学系研究科・特任助教。専門分野は細胞生物学。
ペンシルベニア大学医学部、神戸大学大学院医学研究科などを経て現職。
現在、JST未来社会創造事業「3次元組織工学による次世代食肉生産技術の創出」プロジェクトの研究開発メンバーとして、ミンチ肉の生産が主流の培養肉開発において、まだ世界にはないセンチメートルサイズの厚みのある安価な培養ステーキ肉の研究に取り組む。

**講師　清水 達也**

東京女子医科大学先端生命医科学研究所所長・教授。専門分野は再生医療。
1999年より、「細胞シート工学」による心筋組織再構築の研究を開始。
現在、JST未来社会創造事業「藻類と動物細胞を用いた革新的培養食肉生産システムの創出」プロジェクトの研究開発代表者として、藻類と動物細胞に注目した細胞培養による持続可能な食肉生産システムの研究を推進。再生医療技術の食肉生産への応用を目指す。

JST未来社会創造事業とは
科学技術により「社会・産業が望む新たな価値」を実現する研究開発プログラムです。
詳しくはこちら
https://www.jst.go.jp/mirai/jp/

当日のファシリテーターは
科学技術振興機構の２名が務めます

日下 葵　（JST「科学と社会」推進部）
“科学と社会”の対話・協働を推進する事業を担当しています

濱田 志穂（JST 未来創造研究開発推進部）
今回のテーマの事業を担当しています

## 申込方法

右記のフォーマットで、事前にメールでお申込ください。定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

Email
［宛先］sciencecafe@ifys.jp
［件名］7/19サイエンスカフェ参加希望

氏名：
所属：
**（以下はありましたらお書きください）**
講師に聞きたいこと：

＼参加をお待ちしています！／

**今後の開催日時（予定）**
（テーマは決まり次第、科学技術週間ホームページ上でお知らせいたします）

| | |
|---|---|
| **第3回：**9月20日（金）19:00～20:30 | **第4回：**10月18日（金）19:00～20:30 |